

安全データシート

1. 製品及び会社情報

- ・製品名 : フローセルタイプ用洗浄液
- ・製品コード : 213402
- ・供給者の会社名称 : 株式会社エイアンドティー
〒252-0816 神奈川県藤沢市遠藤 2023 番地 1
電話番号 0466-86-8660
- ・問い合わせ先 : 株式会社エイアンドティー カスタマーサポートセンター
〒252-0816 神奈川県藤沢市遠藤 2023 番地 1
電話番号 0120-487-030
- ・推奨用途 : **イオン選択性分析装置の電極洗浄液**
- ・使用上の制限 : 所定用途以外に使用しないこと

2. 危険有害性の要約

特定の危険有害性
特になし

製品のGHS分類

- 健康に対する有害性
- ・皮膚腐食性/刺激性 : 区分 1
 - ・眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 : 区分 1

環境に対する有害性

- ・水生環境有害性 短期 (急性) : 区分 1
- ・水生環境有害性 長期 (慢性) : 区分 1

GHSラベル要素

絵表示又はシンボル



- 注意喚起語 : 危険
- 危険有害性情報 : 重篤な皮膚の薬傷および眼の損傷
長期的影響により水生生物に非常に強い毒性

注意書き

- 【安全対策】 : 粉じん/ミストを吸入しないこと。
取扱い後はよく手を洗うこと。
保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。
環境への放出を避けること。
- 【救急処置】 : 飲み込んだ場合 : 口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。
皮膚 (又は髪) に付着した場合 : 直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。
皮膚を流水/シャワーで洗うこと。
汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。
吸入した場合 : 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
直ちに医師に連絡すること。
眼に入った場合 : 水で数分間注意深く洗うこと。
次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
漏出物を回収すること。
- 【保管】 : 施錠して保管すること。
- 【廃棄】 : 内容物/容器を市区都道府県の規則に従って廃棄すること。
- 国/地域情報 : 情報なし

3. 組成及び成分情報

- ・化学物質・混合物の区別 : 混合物
- ・製品名 : フローセルタイプ用洗浄液
- ・別名 : フローセルタイプ用洗浄液 100ml*2
- ・内容物 : 100mL×2 本
- ・成分及び含有量
 - 次亜塩素酸ナトリウム : 3-8 % (有効塩素濃度)
 - ・化学物質を特定できる一般的な番号 : CAS 番号 7681-52-9
 - ・官報公示整理番号 : 化審法化学物質 1-237

4. 応急措置

- ・吸入した場合 : 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
直ちに医師に連絡すること。
- ・皮膚に付着した場合 : 多量の水と石鹸で洗うこと。
皮膚刺激又は発疹が生じた場合は、医師の診断/手当てを受けること。
- ・眼に入った場合 : 水で数分間注意深く洗うこと。
コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
医師の診断/手当てを受けること。
- ・飲み込んだ場合 : 口の中を洗浄する。コップ 1、2 杯の水を飲ませる。無理に吐かせないこと。
医師の手当てを受けること。
- ・予想される急性症状及び遅発性症状
 - 急性症状 :
 - 吸入 : 咳、咽頭痛。
 - 皮膚 : 発赤、痛み。
 - 眼 : 発赤、痛み。
 - 経口摂取 : 腹痛、灼熱感、咳、下痢、咽頭痛、嘔吐。
 - 遅発性症状 : データなし
- ・最も重要な兆候及び症状 : データなし

5. 火災時の措置

- ・適切な消火剤 : 粉末消火薬剤、水噴霧、泡消火薬剤、二酸化炭素。
- ・使ってはならない消火剤 : データなし
- ・火災時の特有の危険有害性 : 火災によって刺激性のガスを発生するおそれがある。
- ・特有の消火方法 : データなし
- ・消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置 : 空気呼吸器など適切な保護具を着用する。

6. 漏出時の措置

- ・人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置 : 作業者は適切な保護具（8. ばく露防止及び保護措置の項を参照）を着用し、眼、皮膚への接触やガスの吸入を避ける。
換気をよくして、蒸気の吸入を避ける。
- ・環境に対する注意事項 : 河川等に排出されないように注意する。
- ・封じ込め及び浄化の方法及び機材 : 危険でなければ漏れを止める。

7. 取扱い及び保管上の注意

- ・取扱い
 - 技術的対策 : 作業者は適切な保護具（8. ばく露防止及び保護措置の項を参照）を着用し、眼、皮膚への接触やガスの吸入を避ける。
 - 安全取扱注意事項 : 換気の良い区域で使用すること。
液の漏洩は防止する。
この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。
接触、吸入又は飲み込まないこと。
取扱い後は、手を洗うこと。
 - 接触回避 : (10. 安定性及び反応性の項を参照)
 - 衛生対策 : 取扱い後はよく手を洗うこと。
- ・保管
 - 安全な保管条件 : 直射日光を避け、ボトルを密栓して、5-35℃で保存する。酸性液が混入すると塩素ガスを発生するので接触を防止する。重金属類が存在すると分解が促進されるので、貯蔵する容器内に混入しないようにする。
 - 安全な容器包装材料 : 包装、容器の規制はないが、密閉式の破損しないものに入れる。

8. ばく露防止及び保護措置

- ・許容濃度等 : TLV は設定されていない。
- ・設備対策 : 直接取扱う場所には、局所排気装置を設置又は全体換気を行う。
- ・保護具
 - 呼吸用保護具 : ハロゲンガス用防毒マスクを着用すること。
 - 手の保護具 : 不浸透性保護手袋を着用すること。
 - 眼、顔面の保護具 : 側板付保護眼鏡又はゴーグル型保護眼鏡を着用すること。
 - 皮膚及び身体の保護具 : 長袖保護衣を着用すること。

9. 物理的及び化学的性質

- ・物理状態 : 液体
- ・色 : 無色～黄色透明
- ・臭い : かすかに塩素臭
- ・融点／凝固点 : データなし
- ・沸点又は初留点及び沸点範囲 : データなし
- ・可燃性 : データなし
- ・爆発下限界及び爆発上限界／可燃限界 : データなし
- ・引火点 : データなし
- ・自然発火点 : データなし
- ・分解温度 : データなし
- ・pH : 約 11
- ・動粘性率 : データなし
- ・溶解度 : 水と自由に混和する。
- ・n-オクタノール／水分配係数(log 値) : データなし
- ・蒸気圧 : データなし
- ・密度及び／又は相対密度 : 約 1.1
- ・相対ガス密度 : データなし
- ・粒子特性 : データなし

10. 安定性及び反応性

- ・反応性 : 酸と混合すると塩素ガスを発生する。
- ・化学的安定性 : 空気、熱、光、金属に極めて不安定である。
- ・危険有害反応可能性 : 金属類、天然繊維類の殆どのものを腐食するので接触させないこと。
- ・避けるべき条件 : 40℃以上の高温下や直射日光下での保管
- ・混触危険物質 : 酸
- ・危険有害な分解生成物 : 塩素ガス

11. 有害性情報

- ・急性毒性
 - 急性毒性（経口） : 分類できない。
 - 急性毒性（経皮） : 分類できない。
- ・皮膚腐食性／刺激性 : 以下の区分の皮膚刺激性の物質を含む。
区分1；次亜塩素酸ナトリウム(有効塩素濃度 6%)
混合物として皮膚腐食性／刺激性区分1に分類される。
粉じん／ミストを吸入しないこと。（使用中に吸入されうるほこりやミストの粒子が発生するかもしれない場合）
取扱い後はよく手を洗うこと。
保護手袋／保護衣／保護面を着用すること。
- ・眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性 : 以下の区分の眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性の物質を含む。
区分1；次亜塩素酸ナトリウム(有効塩素濃度 6%)
混合物として眼に対する重篤な損傷性／刺激性は区分1に分類される。
保護眼鏡／保護面を着用すること。
- ・呼吸器感作性又は皮膚感作性
 - 呼吸器感作性 : 分類できない。
 - 皮膚感作性 : 分類できない。
- ・生殖細胞変異原性 : 分類できない。
- ・発がん性 : 分類できない。
- ・生殖毒性 : 分類できない。
- ・特定標的臓器毒性（単回ばく露） : 以下の区分の特定標的臓器毒性（単回ばく露）の物質を含む。
区分3（気道刺激性）；次亜塩素酸ナトリウム(有効塩素濃度 6%)
混合物として特定標的臓器毒性（単回ばく露）は区分に該当しない。
- ・特定標的臓器毒性（反復ばく露） : 以下の区分の特定標的臓器毒性（反復ばく露）の物質を含む。
区分2（全身毒性）；次亜塩素酸ナトリウム(有効塩素濃度 6%)
混合物として特定標的臓器毒性（反復ばく露）は区分に該当しない。
- ・誤えん有害性 : 分類できない。

1.2. 環境影響情報

- ・生態毒性 : 当該物質の主な水生環境有害性（急性）成分
急性区分 1；次亜塩素酸ナトリウム(6%) 6として計算 M：毒性乗率
急性 1 $(M \times \text{急性 1}) = (100 \times 6) = 600\% > 25\%$
→急性 1 に区分される。
混合物は、水生環境有害性区分 1 に分類される（JIS 分類による）。
環境への放出を避けること。
 - ・残留性・分解性 : 水中で徐々に分解する。
 - ・生体蓄積性 : データなし
 - ・土壌中への移動性 : データなし
 - ・オゾン層への有害性 : 分類できない。
- 当該物質の主な水生環境有害性（慢性）成分
慢性区分 1；次亜塩素酸ナトリウム(6%) 6として計算 M：毒性乗率
慢性 1 $(M \times \text{慢性 1}) = (100 \times 6) = 600\% > 25\%$
→慢性 1 に区分される。
混合物は、水生環境有害性区分 1 に分類される（JIS 分類による）。
環境への放出を避けること。

1.3. 廃棄上の注意

- ・残余廃棄物 : 廃棄物の処理にあたっては、該当する法規、条例、規定等に従って適切に処理すること。
- ・化学品、汚染容器及び包装の安全で、かつ、環境上望ましい廃棄、又はリサイクルに関する情報 : 関連法規ならびに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。

1.4. 輸送上の注意

- ・海上（IMDG）
国連番号 : UN1791
品名（国連輸送名） : 次亜塩素酸塩(水溶液)
国連分類 : 8
容器等級 : III
- ・航空（IATA）
国連番号 : UN1791
品名（国連輸送名） : 次亜塩素酸塩(水溶液)
国連分類 : 8
容器等級 : III
- ・特別の安全対策 : 運搬に際しては内容物の漏れがないことを確かめ、転倒、落下、損傷が生じないように積み込み、荷崩れの防止を確実にを行う。
- ・国内規制がある場合の規制情報 : 非該当

1.5. 適用法令

- ・該当法令の名称及びその法令に基づく規制に関する情報
- 毒物及び劇物取締法 : 非該当
- 医薬品医療機器等法 : 非該当
- 労働安全衛生法 : 非該当
- 化学物質排出把握管理促進法 : 非該当

1.6. その他の情報

引用文献

- 1) 14906 の化学商品 化学工業日報社（2006）
- 2) 国際化学物質安全性カード(ICSC) 日本語版 化学工業日報社
- 3) RTECS (1985-86)
- 4) ICSC (J) (1999)

記載内容は、現時点で入手できた資料、情報、データ等に基づいて作成していますので、新しい知見によって改訂されることがあります。記載の注意事項は通常の取扱いを対象とした情報提供であり、必ずしも安全性を保証するものではありません。